

科目	都市情報工学 (Civil and Information Engineering)		
担当教員	高田 知紀 助教		
対象学年等	都市工学科・5年・後期・選択・2単位 (学修単位II)		
学習・教育目標	A3(100%)	JABEE基準1(1)	(c),(d)1
授業の概要と方針	社会基盤整備にかかわる様々な情報の取り扱いについて学習する。理論的基礎としては、記号論や知覚心理学の議論を概観しながら、空間情報についての理解を深める。また、フィールドワークなどの空間共有体験およびGISなどのツールを用いた空間情報の抽出および共有発信の方法について学習する。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【A3】社会基盤整備事業で取り扱う様々な情報を理解する。		社会基盤整備事業にかかわる様々な情報の種類について説明できるか中間試験で評価する。
2	【A3】情報伝達のしくみや空間情報の理論的基礎について理解する。		空間のなかの情報について、人間の空間知覚構造と関連付けながら説明できるかを中間試験で評価する。
3	【A3】現地調査や文献調査などから具体的な空間情報を読み取ることができる。		地図・文献や現地調査から空間の情報を抽出できるかを演習および定期試験で評価する。
4	【A3】抽出した空間情報を共有・発信するための基礎的手法を習得する。		様々な情報共有の方法についての理解度を演習および定期試験で評価する。
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は、試験85% レポート15% として評価する。備考 到達目標1・2・3・4についての試験85%、到達目標3・4のレポート15%で評価する。試験成績は、中間試験と定期試験の平均点とする。総合評価100点満点で60点以上を合格とする。		
テキスト	授業時に配布するプリント		
参考書	桑子敏雄(編)：日本文化の空間学，東信堂。 J.J.ギブソン：生態学的視覚論，サイエンス社。 池上嘉彦：記号論への招待，岩波新書。		
関連科目	景観工学		
履修上の注意事項			

